

青森市産官学連携プラットフォーム 基本方針

2022年改定

青森大学

青森中央学院大学

青森公立大学

青森県立保健大学

青森明の星短期大学

青森中央短期大学

青森市

青森商工会議所

1. 現状

近年青森地域において急激な少子高齢化が進むとともに、青森市内大学の振興や経済の停滞等が大きな地域課題となっている。青森県全体で見ても2021年春の大学進学率が42.1%と全国下位に低迷しており、そのうえ、県外大学への進学率が高く多くの高校生が県外に進学しているのが現状である。青森地域の高等教育機関においても学生数の減少が深刻な問題となっている。

また、せっかく青森市内大学で学んだ学生の多くが、卒業とともに地域外へ就職し、人口減少の大きな要因となっており、若年層の地域定着が大きな課題となっている。

これらの様々な課題等を解決するためには、青森市内の高等教育機関が一つの集合体となり、青森市、青森商工会議所とプラットフォームを形成し、産官学連携により、大学の活性化に一体となって取り組むとともに、このことが地域の活性化につながると考えている。

2 課題

現状をふまえての課題分析。

- (1) 青森県内の高等学校から、青森市内の大学・短期大学への進学者が少ない。
- (2) 青森県内への就職者が少ない。
- (3) 起業、新ビジネスの開発等の機会が少ない。
- (4) 地域と連携した取組が少ない
- (5) 学習・研究成果の公開が少ないので、市民からの理解が得られていない。
- (6) 青森市内の大学・短期大学にどのようなコースがあり、どのような学びができるのか、高等学校に対しての情報が不足している。

3 ビジョン・目標

- (1) 若者が青森地域で学び、就職し、県外に就職してもUターンする、若者が誇れる街をつくる。
- (2) 青森地域の高等教育機関が連携し、生き活きとした地域をつくる。

最重点目標

- ・ 青森県内高等学校からの進学者数の増加
- ・ 卒業生の青森県内就職率の増加

4. 中長期計画（2022年～2026年度）

（1）人材育成に関すること

- ① 学生数の増加を図ります。
- ② 卒業生の地域定着を図ります。
- ③ 学生の交流、若者の地域活動を支援します。
- ④ 若者の起業を支援します。
- ⑤ 多様な学生の受入れを推進します。

（2）まちづくりに関すること

- ① 地域コミュニティ活動を支援します。
- ② 防災に関する活動を支援します。
- ③ あおもりフィールドスタディの充実を図ります。

（3）地域経済の活性化に関すること

- ① 商店街の活性化を支援します。
- ② 学生のインターンシップを推進します。
- ③ インバウンドの受入れなど地域経済の国際化の推進・支援をします。

（4）地域の学びの推進に関すること

- ① 社会人のキャリア形成のためのプログラムを推進します。
- ② 地域の教育支援活動を推進します。
- ③ 市民、学生参加の公開講座を増加します。

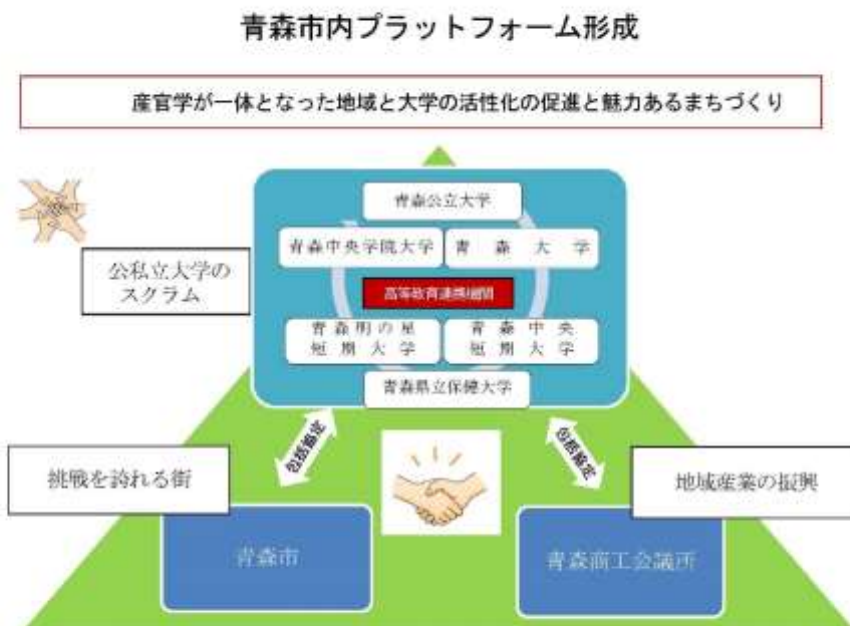
（5）地域の健康・福祉の増進に関すること

- ① 食育活動を推進します。
- ② 健康・福祉増進活動を推進します。
- ③ 生涯スポーツを支援します。

（6）共同研究・事業に関すること

- ① 地域課題の解決につながる研究を行います。
- ② 大学が地域にもたらす効果についての研究を行います。
- ③ 大学連携による大学事務の効率化に関する研究を行います。
- ④ 地域のリスクマネジメントに関する研究を行います。

5. 連携体制図



6. 実施体制

青森市産官学連絡会議設置要綱に基づき、実施する。なお、事務局を青森明の星短期大学に置く。

①青森市産官学連絡会議構成員

- ・ 高等教育機関関係
青森大学、青森中央学院大学、青森中央短期大学、青森明の星短期大学、
青森公立大学、青森県立保健大学
- ・ 行政関係 青森市
- ・ 経済関係 青森商工会議所

②所掌事務

連絡会議は、次に掲げる事項について所掌する。

- 一 基本方針の策定に関する事
- 二 中長期計画の策定に関する事
- 三 基本方針及び中長期計画の実行に関する事
- 四 その他必要な事項